

はにい できるってかっこいい

平成29年8月7日

「うわあ～！海のおいがする」
中学校調理室には、今朝、獲れたばかりの
地元のアジがずらり。

これから、一人一尾、アジをおろす。

まずは、先生がお手本。

生徒たちの視線は、包丁のその先の、キ
ラリと光る魚の背に集中する。

「ミシ、ミシ、ミシミシミシ・・・」

聞きなれない音に、一瞬目をそらす。



「さあ、今度は皆さんの番です」

生徒たちは、ほんの少し動きを止め、小さく息を吐きながら、
自分の目の前のアジに挑む。

「ぜひごをとって・・・はらわたを抜いて・・・ここで洗って・・・
そして三枚にする・・・」

習ったことをつぶやきながら、手順にそって一つずつ、落ち
着いて取り組む生徒たちのほとんどは、初めての挑戦者だ。

「やだ、ムリ」と言っていた生徒も含め、アジに、包丁に、
まな板に、向き合う姿は真剣だ。



おろしたアジは、すぐに、つみれ汁になった。

「うまあい！！」の一言に続いて

「つみれって魚だったんだ！」と、実感する。

「さっきは材料だったのに、一瞬で料理にしちゃ
ったね」「私たちすごくない?!」「できるってメ
チャかっこいい」と会話は止まらない。

「片付けの時間です！」の先生の呼びかけに、
最後の一杯をよそっていた生徒がつぶやいた。

「いただきますって、命いただきますってことだ
ったんだなあ」



『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp